



発行責任者  
隠岐広域連  
合立隠岐病  
院長

# 新しい季節♪ 新しい顔♪

平成二十五年度がスタートし、早二ヶ月がたちます。遅くなりましたが四月、五月付け採用職員を紹介し、まず麻酔科を新設し、手術関連が、より充実しました。まずは麻酔科とはどんな診療科なのか説明も兼ねながら、自己紹介してもらいます。

痛みの治療を行う  
ペインクリニック外来も  
始めました。



すけなが ちかひこ  
助 永 親 彦  
(麻酔科)

隠岐の皆様、はじめまして。本年四月より隠岐病院に麻酔科医として赴任いたしました助永親彦と申します。私は大阪府出身で九年前大阪府の八尾市立病院というところで勤務していましたが、今回縁があり隠岐病院で働かせていただくことになりました。

最近ではドラマや映画で麻酔科医を目にすることも多いかと思いますが、麻酔科医の第一の仕事は手術の麻酔を安全に行うことです。以前の勤務先では麻酔科医は十名以上在籍しておりましたが、全国的にはまだまだ少なく348ある二次医療圏のなかで37もの医療圏で麻酔科医が不在といわれています。隠岐地域もその一つでした。ここ数年の隠岐病院においては年間五百例を超える手術が行われており、絶対必要な麻酔科医が長らく不在であったことも転勤の動機の一つです。私が医師になってからこの十年だけでも麻酔関連の薬剤・医療機器は飛躍的に進化したし、数十年前とは比較にならないくらい安全性・快適性が高くなっています。新隠岐病院の立

派な手術室で新しい薬剤や医療器材を導入し活用していくことで本土と遜色のない麻酔が提供できると確信しています。隠岐の島の特色としてやはり高齢の方も多く、転勤した四月だけでも九十歳以上の患者さんの手術が四回もありました。リスクの高いケースであっても安全に、かつ快適に手術を受けていただければ幸いです。隠岐病院の理念である「この島に住む、安心の医療」に向けて、まずは手術関連で貢献できればと思っております。

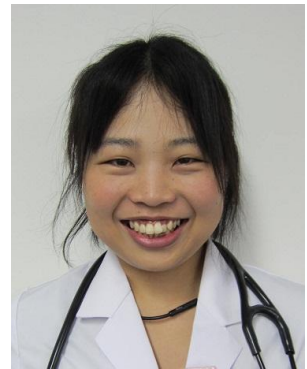
また、麻酔科の手術麻酔以外の業務としては、腰椎疾患や帯状疱疹など各種の痛みの治療を行うペインクリニック外来や、救急外来業務を行ったり、重症の入院患者さんを主治医の先生と一緒に担当することもあります。常に患者さんの視点に立つよう心がけ、手術室のみならず様々な場面で医療に取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。

四月から四階病棟で勤務して  
います森由佳と申します。看護  
学校から東京に上京し卒業後は  
東京の病院で勤務してきました  
た。手術センターでの勤務でし



もり ゆか  
森 由香  
(看護師)

はじめまして、内科に赴任し  
ました門脇あゆみと申します。  
出身は安来市で隠岐の島は初め  
てですが住みやすく、海も山も  
きれいで大変気に入りました。  
病院での仕事に関しましては、  
赴任早々多くの方々にご迷惑お  
かけしておりますが、温かいご  
指導に大変感謝しています。今  
後とも精進いたしますのでよろ  
しくお願いたします。



かどわき  
門脇 あゆみ  
(内科)



しろ まりこ  
代 眞梨子  
(看護師)

四月から三階東で勤務させて  
頂いています、看護師の齋藤明  
日香です。京都府よりやってき  
ました。新設の建物や最新のシ  
ステムの中で働けることは気持  
ちがよく、それに加え隠岐の木  
材を活かした造りの中で看護に  
携われる事に嬉しく思います。  
ここでの暮らし親しめるよう、  
様々な活動に参加していきたい  
です。よろしくお願いたします。



さいとう あすか  
齋藤 明日香  
(看護師)

たので病棟勤務は初めてです。  
慣れないことも多いですが、患  
者様に安全で安楽な看護が提供  
できるように頑張っていきたい  
のでよろしくお願いたします。

今年の四月から隠岐病院の放  
射線科で働いている、磯部直哉  
です。隠岐の島の西郷出身で、  
今年の三月に広島国際大学を卒  
業し、自分の生まれ育った島で  
働きたく、隠岐の島に帰ってき  
ました。少しでも早く仕事を覚  
えて、島民の皆様の役に立てる  
よう頑張つてまいりますので、  
皆様にこれからどうぞよろしく  
お願いたします。



いそべ なおや  
磯部 直哉  
(診療放射線技師)

四月から三階西病棟勤務にな  
りました。代眞梨子です。三月  
に看護学校を卒業し、多くの患  
者様や先輩看護師に囲まれての  
勤務はとても緊張します。まだ  
まだ介助や処置には不慣れで、  
先輩看護師や医師から指導を受  
けていますが、早く介助や処置  
ができるようになって多くの患  
者様と関わっていききたいと思  
います。よろしくお願いたします。

予約変更のお願い

再診予約患者様  
の予約変更につき  
ましては、前日ま  
での午後2時から  
4時までにご連  
絡いただきます  
ようお願します

四月の人事異動により隠岐病  
院事務部長に就任いたしました  
春木です。隠岐の島町からの派  
遣により平成二十二年から隠岐  
病院整備室で勤務してまいり  
ましたが、この度事務部長を拝命  
いたしました。  
これからは、皆様に安心・安  
全な医療が提供できるよう微力  
ではございますが取り組ませ  
ていただきますので、よろしく  
お願致します。



はるき しげまさ  
春木 茂正  
(事務部長)

新事務部長紹介

## 新・職場紹介 検査科・健診室

新病院になり、前とは違った運用をしている職場もあります。職場PRも含めて、各職場からの自己紹介です。トップバッターは「検査科」です。



こんにちは、検査科です。旧病院では検査室で採血をしていたので、患者様と毎日顔を合わせていました。

場所も分かりやすく検査室の中も見えていましたが、新病院では中央処置室で採血するようになり、検体検査室は受付⑤とトイレの奥に隠れて、中が見えなくなっていました。

旧病院では救急外来と検査室が遠い、採尿トイレが検査室と離れていて不便だったことから、新病院では検査室を救急外来から近い位置に配置しました。

採血場所（中央処置室）や採尿トイレを検体検査室に隣接させ、採血検体がすぐに検体検査室に届くようにし、またトイレの中から採尿コップが出せるようにしました。

そのため検体検査室が奥に隠れてしまっただけでなく、

まいましたが、まさに「縁の下の力持ち」で、ちゃんと頑張っていますので皆さん忘れないうで下さいね。

検査室は検体検査部門と生理検査部門に分かれています。

検体検査部門は、血液や尿・便などの体液検体を扱い、血液一般検査、生化学検査、免疫血清学検査、輸血検査、尿便検査、細菌検査などを行っています。

旧病院でも検査システムで運用していましたが、電子カルテ導入でさらに充実しました。

生理検査部門は、心電図検査、肺機能検査、超音波検査、脳波検査、神経伝導検査など患者さん自身の体を直接検査します。

旧病院では紙報告書運用でしたが、新病院では電子カルテに直接画像が取り込まれ、診察室

のパソコンで即座に見る事ができるようになりました。また、過去のデータとの比較も、今までは古いカルテを捜して時間がかかりましたが、これからはパソコンで即座に検索して比較できるようになります。

新病院では生理検査部門に健診業務を取込み、健診事務室と健診コーナーを配置しました。

そのため、視力検査、聴力検査、眼底検査、血圧脈波検査を導入し、健診コーナーでできるようになりました。これにより、健診受診者の動線が軽減され、時間短縮につながります。



年に1度は健診を受けてくださいネ!

健診事務室では、申込受付、問合せ、相談、助成制度の紹介、予約管理、健診結果の郵送などを行っています。

昨年度は、当院の人間ドックを受けた方の七十五%の方に何らかの異常が認められ、生活習慣の改善のきっかけや、早期発見早期治療に貢献できたのではないかと思います。

私たち検査科のスタッフは総勢七名です。うち六名が臨床検査技師、一名が事務職員です。中村、都万、西郷、五箇と旧町村出身者の集まりで、隠岐中の方言が飛びかっています。

病院には患者さんのために山の「縁の下の力持ち」が働いています。

私たち検査科もその一つで、病気の診断、治療、手術が、的確により安全に行われるよう、正確なデータをより早く報告するよう努めています。また、皆さんの健康を願い、健康診断の推進にも努めています。

心新たに頑張っていますので、何かお気付きの点などあれば遠慮なく申し付けください。

# 隠岐病院駐車場の 進入口変更について

隠岐病院駐車場工事の完了に伴い、五月二十日（月）より駐車場進入口が変更となりました。（下図のとおり）  
なお、**病院構内は一方通行**となりますので、ご利用の際はご注意ください。

【駐車場への進入口方法について】

- 一般車輛は、新しい進入口①から進入し、時計回りに通行してください。
- バスは五月三十一日（金）まで現在の進入口②から隠岐病院正面玄関前を通過し時計回りに通行します。
- また、**現在の進入口②については、六月一日（土）より車輛進入禁止**としますのでご協力を願います。

◆お問い合わせ先  
隠岐病院総務課

電話 2-1356



## 「まめネット」参加同意 の11案内について

### ○まめネットとは

しまね医療情報ネットワーク協会では、皆さまへのより良い医療提供を目的に、患者さまの診療情報を地域の医療機関で共有する仕組みづくりを行っています。それがしまね医療情報ネットワーク「まめネット」です。「まめネット」は、医療機関を相互につなぐ医療情報ネットワークです。

「まめネット」に接続する島根県内の各医療機関では、患者さまの同意の下、診療情報等を閲覧することができるようになります。（これを「連携カルテ」と呼びます。）

これまで複数の医療機関に分散されていた患者さまの医療情報を連携カルテとして共有することで、診断や治療、調剤などを行う際により正確な診断、安全な処置などができるようになります。

○患者さまのメリット  
連携カルテを利用すること

で、各医療機関は、患者さまの受診歴や病歴など最新の状況をスピーディーに把握できるようになります。

この連携カルテを中心に、画像診断など様々な機能を活用して、一人の患者さまを複数の医療機関が受け持つ、いつでも・どこでもより安心して安全な医療サービスにつながっていきます。ぜひ「まめネット」にご参加ください。  
詳しくは左記までお問い合わせください。

・ NPO 法人 しまね医療情報ネットワーク協会

TEL 0853-22-8058

FAX 0853-22-8099

ホームページ

<http://www.shimane-net.jp>

・ 隠岐広域連合立隠岐病院

TEL 08512-2-1356

FAX 08512-2-6149

まめネットで  
つながるわっ！

